

雄大な大地と美しい水、きれいな空気。豊かな自然の中で育てられる安全安心な農産物は、わたしたちの大切な財産です。

熊本県では、生産量が日本一のスイカ、トマト、い草、甘夏みかん、不知火(デコポン)、宿根カスミンウをはじめ、多彩な農産物が作られています。また、土づくり、減農薬、減化学肥料に取り組む「エコファーマー」の認定者数が全国1位など、安全や環境に配慮した農業を進めています。一方、多様な消費者ニーズに対応できる農産物づくりなど、新たな展開が求められています。

そこで、県と農業団体などでは、一緒になって、「もう一口!大きくなろう」をキャッチフレーズに、次の3つを柱とする「元気人気くまもと農業運動」に取り組んでいます。



熊本の農産物

元気いっぱい 人気広がるくまもと農業!!

元気人気くまもと農業運動 合言葉は「挑戦と連携」

~「くまもとの新しい農業のカタチ」を一緒につくっていきましょう~

特色ある農産物づくりによる「くまもと農業の元気づくり」の推進

「安全安心な農産物づくり」を基本に、新しい販売流通の方法を取り入れながら、個性ある農産物や地域特産品など特色ある農産物づくりを進めます。



温州みかん「肥のあかり」



「サラダたまねぎ」



ヤーコン (野菜の一つ)



いちご「ひのしずく」の収穫

安全・環境に配慮した「くまもとグリーン農業」の推進

食の安全や環境問題に対する関心が高まる中、自然との共生を目指し、減農薬、減化学肥料栽培や家畜排せつ物堆肥の有効活用など安全や環境保全を重視した農業を進めます。



黄色蛍光灯設置ハウス

黄色蛍光灯の設置により、夜行性の害虫の侵入を防ぎ、減農薬につながっています。

堆肥の散布
牛や豚などの家畜排せつ物を堆肥にし、田畑に散布することで、資源の有効活用と土づくりを行います。



生産者と消費者の共生による「くまもと食・農ルネサンス」の推進



子どもたちの稲刈り体験



「くまもと食の名人」による郷土料理教室

農業・農村の持つ魅力や役割をあらためて見直し、地産地消の推進や食文化の継承、都市と農村の交流を進めます。

この運動のシンボルマークは、阿蘇山と、そのすそ野に広がる農地を描き、豊かな水と大地、変化に富んだ地形を表しています。また、笑顔と新芽を組み合わせ、くまもと農業の再生と飛躍もイメージしています。



シンボルマーク

運動では

このような取り組みを進めています。

県民の皆さん！
もう一口！大きくなるぞ！



農業の元気づくりプロジェクト



肉用鶏「天草大王」
歯応えとうま味のある地鶏



不知火の新品種「肥の豊」
酸が低くておいしい



いちご「ひのしずく」
果実が大玉の甘いいちご

バケツ輸送
水を入れた容器に、切り花を縦に差し産地から市場や小売店へ届けます。



あまくさいおう
肉用鶏の「天草大王」、いちごの「ひのしずく」、不知火の新品種「肥の豊」、い草の「ひのみどり」などの新品種の導入・普及拡大や生産履歴の記帳による米の品質管理などの「個性化・こだわり農産物づくり」に取り組みます。また、みかん、ナシなどの海外向け輸出の開拓や、切り花のバケツ輸送など販売流通経路の拡大などに取り組みます。

「肥の豊」を含めた「不知火」のうち品質基準を満たしたものがデコポン(JA熊本果実連の登録商標)です。

グリーン農業推進プロジェクト

安全安心な農産物を消費者の皆さんにお届けするため、県が定めた減農薬や減化学肥料などの基準で栽培された熊本型特別栽培農産物の「有作くん」や、「エコファーマー」などの環境に配慮した農業の取り組みを、より多くの皆さんにお知らせしていきます。



「うまか～！くまもと元気の日」は毎月第2週の金・土・日曜日

食・農ルネサンスプロジェクト

農山漁村に行ってみよう



農林水産業を体験してみよう



旬の県産品を味わってみよう



県内のどこでも農林水産業や農山漁村の豊かさを体験・体感できる「うまか～！くまもと元気の日」を設けます。この日に各地で行われるイベントや、元気の日を応援し県民の皆さんが県産品を購入しやすいように取り組んでいる地産地消協力店などを、「熊本県地産地消サイト」(10月6日掲載)で紹介いたします。なお、地産地消協力店はのぼりを掲げます。

皆さんで「うまい熊本！」を探しに出かけてみませんか！

詳しくは、県農政課または最寄りの県地域振興局にお尋ねください。

お問い合わせ先 / 熊本県農政課 政策班 ☎ 096-383-1111(内線5322) FAX 096-383-3270
電子メール nousei@pref.kumamoto.lg.jp 熊本県地産地消サイト <http://cyber.pref.kumamoto.jp/chisan/>

知事室から



熊本県知事 山本 充弘

大型で強い台風一四号で被害を受けられました皆様に関心からお見舞いを申し上げます。

さて、今月末、「第十四回全国ボランティアフェスティバル火の国くまもと」が開催されます。県内各地では、ボランティアの方々が「熱心」を全国に発信しようと、精力的に準備を進めておられます。

本県は、日本赤十字社やスペシャルオリンピックス日本の発祥地として、歴史的にもボランティア活動とのつながりが深く、今回の開催は大変意義深いと考えています。この大会を契機に、多くの皆様にボランティアに対する理解と関心を深めていただき、新たな交流の輪が大きく広がっていくことを願っています。

また、今回ご紹介した「元気人気くまもと農業運動」では、生産者をはじめ幅広い分野の皆様とのパートナーシップを大切にしながら、安全や環境に配慮した個性的でこだわりのある農産物づくり、さらに農産物の販売流通経路の拡大にも積極的に取り組んでいるところです。

全国からのお客様には、熊本ならではの旬の農産物をはじめ、豊かな自然や文化などをお楽しみいただくとともに、熊本ファンになっていただきたいと思います。県民の皆様のご参加と心からのおもてなしを、ぜひ、お願いいたします。